

非核・いしかわ

事務局／石川民医連労働組合気付
〒920-0848 金沢市京町 28-8 Tel.076-251-0014 Fax 076-251-3930
郵便振替口座 00760-0-15689 会報込年会費 3000円

非核五項目

2017年4月20日 月刊第225号 発行／非核の政府を求める石川の会

- ① 全人類共通の課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める
- ② 国是とされる非核三原則（つくらず、もたず、もちこませず）を厳守する
- ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する
- ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する
- ⑤ 原水爆禁止世界大会のこれまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する

1面	平和行政の発展を願って — 野々市市 栗貴章市長と懇談	6面	「ザ・思いやり」上映会の感想	7面	〈独標より〉 足おと 編集室より	石川あい
3面	国連会議で核兵器禁止条約の交渉始まる 池田治夫	6面	金沢市はもっと積極的に平和施策の推進を ～金沢市議会会議録HPより～	8面	シリーズ 石川の地域点描 絵手紙コーナー	中西 優 家 正子
4面	共謀罪法案シンポジウムの報告	7面	〈リレーエッセー〉 世界と響きあう変化 尾西洋子			



栗貴章野々市市長（右）と懇談する井上英夫
代表世話人

平和行政の発展を願って

野々市市 栗貴章市長と懇談

非核の政府を求める石川の会

三月三十一日、ニューヨーク国連本部では核兵器禁止条約制定に向けた会議が開催され、世界の平和を祈る人びとの注目を集めている折、非核石川の会は二〇一二年より行っている『平和首長会議加盟自治体訪問』を行い、今回は平成二四年以来二度目の訪問となる野々市市で栗貴章市長との懇談

が実現しました。

* *

懇談は、白山連峰の山並みを望む明るい市長応接室で行われ、非核石川の会から井上英夫代表世話人、尾西洋子、川本浩平、神田順一、永山孝一各常任世話人と会員の岩見博野々市市議が参加。野々市市からは栗貴章市長、中田八千代秘書広報課長ほか、総務課職員二名が応対されました。

はじめに

井上代表より、野々市市におかれましては「平和都市宣言」のもと熱心な活動されており敬意を表します。本会は、非核の政府を求める運動をより一層広い市民に知らせたいと考えています。との挨拶があり、続いて神田事務局長より、本日は市長さんの率直な思いをお聞きしたい。非核平和へ向けての事業は継続性が重要で、その点で早くから取り組んでおられる野々市市の市長さんの想いをお聞きしたい、と要望しました。



金沢市で、家庭一

みの有料化条例が成立となった。しかし、ごみの減量・再資源化への効果を疑問視する声は多い。そもそも、分別の徹底など、有料化以前の課題が少なくないのが現状だ▼手数料という名のごみ袋代は、地域活動への助成などに使い、回収事業には使わないという。そうなるに財政面でのメリットも小さく、いったい誰が得をするのか。わざわざやる理由がさっぱり見えてこない▼これは想像だが、当局の職員の現状へのいらだちや怒りが背景にあったのではないかと▼私も、有料化反対の運動に関わってから、丁寧に分別をするようになった。ティッシュなどの箱やメモ類も分けていくと、可燃ごみはかなり減る。しかしそうすると、職場で紙類がどんどんごみ箱に入れられるのを見て、いらだちを覚えるようになった。当局の方々が、ごみの出し方の改善がなかなか進まないのに業を煮やし、いっそ有料化してしまえ、と考えたとしても、その心中は理解できなくもない▼有料化ストップの運動は、今後も続いていく。しかしその中では、自らがごみを減らし、有料化が不要であると示していくことも必要ではないか。それもまた、私たちの「たたかい」であるはずだ。(山)

平和都市宣言の推進事業

栗市長は、平和都市宣言は昭和五九年の野々市町当時も、今もそうだが、市民レベルではいろんな立場があるので、責任ある立場としてはやりにくい面もあるが、野々市は率直な形で取り組める地域でもあり、市民の理解も得られていると述べられました。

平成三年以降は広島市の平和記念式典に市内の中学生を派遣しています。代表者を派遣しています。平和記念式典に参加しての実感、あの場所です。所得られるものがあり、中学生だけでなく一般の皆さんにもこれを広げられればよいと思います。原爆ドーム、原爆資料館の見学など、私はこれまで三回行きましたが、直接学ぶことに意味があり、行く度に新しい発見があります、と語られました。

井上代表は、原爆資料館もそうだが、近くのお寺で墓石を見ると、同じ日に多くの人が亡くなっていること、一家全滅とか、が分かる。日本人ばかりか、韓国・中国の人も多い、と語りました。

* * *

岩見議員から、栗市長は平成二五年の平和首長会議広島大会の総会にも参加していただけるとの紹介があり、栗

市長は、総会出席当時の感想は市議会の会議録にあると述べられました。

神田事務局長から、野々市市では「原爆パネル展」に併せて、平和記念式典参加の中学生の感想文を毎年必ず発表していただける。広島研修に応募する人はどれくらい？との問いに、一校当たり七人、二校で計十四人とのこと。栗市長から、市からの提案というより市民社会からの盛り上がりが大切であり、若いうちにそういう場に参加することに意味があると思う、と話されました。

永山から『非核都市宣言を実行する自治体へ』の提言があり、自治体における行動企画と主たる実施機関の関係について説明がありました。

① 非核宣言の意義を宣伝普及
——自治体の議会

② 非核都市であることの周知
——自治体の行政

③ 非核平和宣言の意義を学ぶ
——自治体の教育委員会

④ 市民活動の交流促進の企画
——自治体の市民

栗市長から、本市の平和都市宣言の名称に『非核』の文字は入っていないとの説明がありました。井上代表は、平和都市宣言の本文にある『核兵器廃絶』こそ大切であると述べました。



市民社会の平和への議論と行動が
大切と共感できた懇談になりました

また、市長は広島へ行った経験も含め、大学を卒業してから、参議院議員の安田隆明さんの秘書時代に、リベラルなところを見てきたので皆さんの気持ちには理解できますと、非核への思いに至る経緯についても語られました。

核兵器廃絶に向けた取り組み

栗市長はトランプ政権や国連での核兵器禁止条約交渉会議への日本政府の態度について、「もう少し上手な態度をとれないのか」と話され、井上代表は「核廃絶へまともな議論を求めたい！」と語りました。神田事務局長から日本政府は『核保有国と非保有国の橋渡し』と言っているが、いったい軸足をどこに置いているのかと指摘。栗市長は、消極的な対応では、国民の願いと違い、国際平和が結果として前進しないのではないかと。尾西は、唯

一の戦争被爆国として、被爆者の皆さんの想いや国連総会で賛同した多数の国々に応えるべきとき。井上代表は、問われるのは『外交力』でしょう、と述べました。栗市長はこの現実を残念だと思つたと話され、井上代表は、参加各国の代表は、日本の被爆者運動に大変勇気づけられており、日本政府が国連の交渉会議に参加することを期待していると語りました。

栗市長は、「市民社会の平和への議論と行動を高めることが大切だ」と述べられ「核兵器廃絶への気持ちは皆同じだ。行動が大切」と強調されました。このあと川本から、安倍政権で揺りもどしが起きている。地方議会から意見書をあげるなどが大切だ。尾西は、化学兵器や生物兵器禁止条約が締結できたように核兵器禁止条約の実現が現実の課題となる歴史的な今こそ、草の根運動が大切と「ヒバクシャ国際署名」を共に進めましょう、と呼びかけました。

.....

このあと、五月一三日(土)に野々市市庁舎併設・情報交流館カメラリアで開催する「非核の政府を求める石川の会第二九回総会」で栗市長にご挨拶をお願いし快諾をいただきました。

(文責 非核・いしかわ編集部)

国連会議で核兵器禁止条約に 関する交渉始まる

池田 治夫

ニューヨーク国連本部で開かれていた核兵器禁止条約の交渉会議（第一期）は三月三十一日ですべての議事を終えた。この会議は昨年一二月の国連総会決議に基づいて核兵器の全面禁止を正面に据えた歴史上初めての国連会議で、一一五か国以上の政府代表や NGO などが参加し、核兵器禁止条約の内容について意見交換した。会議は一旦閉会して六月一日までに草案を提示し、六月一五日から七月七日の日程で第二期を開いて条約を採択する予定である。会議の様子はマスコミなどを通じて報道されているが、その情報の中から被爆者団体の一員という立場から見えて気がついた点について触れたい。

悲願の核兵器禁止条約の 見通しが立った

被爆者の悲願である核廃絶に向けて、現実には核兵器が国際法上違法化される見通しが、期日を明示して立った。その意味で核保有国とその核に依存

する国々の政権を追い詰めつつあり、そのことに被爆者と日本の反核運動が貢献できているという実感である。今回も日本被団協の藤森事務局次長やカナダ在住の被爆者サーロー節子さんが自らの被爆体験を語り、参加者に深い感銘を与えた。

核をめぐる対立の構図が鮮明に

国連加盟国中、核保有国とその核に依存する国々は「ひとにぎり」である。その数少ない国々の政権が依って立つ自国民世論も含めて地球市民の圧倒的多数を向こうに廻して最後の抵抗を試みている図式が顕わになった。核保有国らは会議初日に議場外で記者会見を開いたとのことで、国連の役割を放棄して「かやの外」を自認した。唯一の被爆国である日本政府代表は、当初参加は困難と表明していたが、岸田外務大臣の意向で会議冒頭にだけ参加して「この交渉はやつても無駄だから帰ります」（被団協事務次長の評）と宣言しただけの体たらくであった。

これには非難（こうこう）で、空席に置かれた折りづるには「ここにいてほしかった」との英語メッセージが書かれていたとのことだが、唯一の被爆国の役割を果たせとの皮肉以外の何物でもない。米の核に依存するオーストラリア政府代表のポイコットについては、自国上院でこれを批判する決議が採択されたとのことで、政権の足場が崩れつつある。これらは、「核廃絶に踏み込む多数の国々」VS「核にしがみつ়少数の国々」であり、バックには核廃絶を願う「地球市民」の圧倒的多数の声がある。

国際法上違法のイメージが具体的に

会議の内容に関して、具体的な禁止条項として核兵器の開発、実験、保有、使用の他、核による威嚇や自国領域内の移送などが意見交換された。条約締結国の領域では核兵器の保管・設置・通過ができなくなるか、または「持たないことの証明」が必要になり、自由配備に制約が生ずる。更にもし核兵器保有国などの反対があつても条約が採択された場合、国際法上核兵器は人道的な立場から違法とされ、これに反することが道義的責任とされることは大きな影響を持つものと考えられる。

核にしがみつく

大国の抵抗はあなどれない

まずは一国一票の国連の場で多数の力で押しまくって「違法化」を実現する。そして簡単ではないが核にしがみつく勢力を国連の議場に引き戻すため「ヒバクシャ国際署名」数億の地球市民の声で包囲する。そしてそれらの運動を通じて各国の市民が自国政府（の政策）を変えさせる運動に尽力する。この政権と国民の矛盾は、核廃絶に限らず原発、環境、貧困格差など各分野で激化しつつある。

（石川県原爆被災者友の会事務局長）

非核の政府を求める石川の会第 29 回総会

開催案内

- ・日時 2017 年 5 月 13 日（土）10:00～11:30
- ・会場 野々市市情報交流館カメラア 2 階ホール 椿 1
- ・来賓挨拶 栗貴章 野々市市長
- ・総会議題 ①2016 年度活動報告及び決算報告
②2017 年度活動方針案及び予算案
③役員改選

戦争をさせない石川の会 共謀罪法案シンポジウム

戦争をさせない石川の会が三月一日、近江町交流プラザ四階集会室で開いた「共謀罪法案シンポジウム」のパネリスト三人の報告要旨を紹介します。

【報告1】

共謀罪と東京オリンピック

スポーツ・ジャーナリスト

谷口源太郎



谷口源太郎さん

安倍首相は今国会で「共謀罪を成立させて国際組織犯罪防止条約を締結しなければ東京五輪は開けないと言っても過言でない」と強調した。これはI.O.Cの規定にもない全くのデマです。安倍首相はなぜこのような主張をするのか。その狙いは何か。

二〇一一年一月にスポーツ基本法が成立した。一九六四年の東京五輪

のときもその三年前にスポーツ振興法が成立したが、その内容は東京五輪に向けて国を挙げての選手強化だった。ところがスポーツ基本法は国家プロジェクトとして「スポーツ立国」をめざすこと、このために国際的なイベントを積極的に誘致することを謳っている。五輪はその最たるものでこれがスポーツ基本法の本質である。

五輪憲章ではオリンピックの目的は、個人とチームの間で行われるものであつて、国家間で行われるものではない、とナショナルリズムを排除している。しかし現在、この五輪憲章は骨抜きになっており、国威の発揚による各国のメダル競争になっている。

二〇二〇年東京五輪組織委員会の森喜朗会長と安倍首相のコンビは、オリンピック体制（国策への反対を排除して、国民総動員体制）への足掛かりとして東京五輪をめざしているのは明らかだ。国益のため東京五輪開催に文句を言わせない社会づくりとして共謀罪を成立させようとしている。「何のため、誰のためのオリンピックか」を問い直すべきだ。

メディアは五輪が持つ問題点を伝えていない。先日、NHK解説員が「リオ五輪の成果」として①国威の発揚、②国際的な存在感、③経済的効果、④

組織改革、⑤スポーツ文化の継承を挙げていた。つまり「国威の発揚」が第一となつている。五輪憲章には「人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指すために、人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てること」が謳われているが、昨今では国家間のメダル競争、勝利至上主義、さらには巨大資本のコントロールのもとに五輪大会が開かれている。共謀罪に反対する人たちの中にも五輪はよいものという意識が広がっているが、東京五輪と共謀罪がどのような関わりがあるのかよく考えて頂きたい。

【報告2】

泊・横浜事件と言論弾圧

ジャーナリスト

向井嘉之



富山県泊町で開かれた出版記念会の
写真を紹介する向井嘉之さん

泊・横浜事件は、戦前の治安維持法により編集者や研究者が六〇人以上逮捕された一大言論弾圧事件である。この時代背景には一九一七年ロシア革命、一九一八年米騒動、一九二二年日本共産党が非合法に結成され、一九二三年関東大震災が発生するなかで、一九二五年に治安維持法が制定された。

最初の治安維持法は、国体（天皇制国家体制）の変革を目的とする結社を組織する行為に対する処罰（一〇年以下）だったが、度重なる法改正でなしい崩し的に捜査対象が拡大した。一九二八年の緊急勅令による改正で国体変革目的の結社の組織は最高刑（死刑）にした。このとき現在の共謀罪と同じように「結社ノ目的遂行ノ為ニスル行為」も同等に処罰する（目的遂行罪）が設けられた。さらに太平洋戦争を始めた一九四一年に全面改正された治安維持法は、国体の変革を支援する結社、組織を準備する目的の結社（準備結社）、さらにその目的遂行行為も処罰の対象とした。この法律にもとづき最初にでつち上げたのが泊・横浜事件である。

事件の端緒になったのは一九四二年九月一日、雑誌『改造』に「世界史の動向と日本」を発表した評論家の

細川嘉六が治安維持法で検挙されたこと。同年七月三日～五日、細川の故郷、富山県泊町（現・朝日町）の旅館で開かれた「世界史の動向と日本」出版記念会が「共産党再建準備会」とでつち上げられ、イモづる式に六〇人以上が逮捕され、拷問で自白を強要されて四人が獄死、三二人が有罪判決を受けた。

今国会に提出されようとしている共謀罪は、犯罪行為がなくても計画や準備、共謀の合意があれば捜査できる。このねらいは国民の権利運動の抑圧であり、市民運動への恣意的な取り締まりが公然と行われることになる。共謀罪が「平成の治安維持法」と云われる所以である。

いま安倍首相も同じことを云っているが、治安維持法ができたときは「一般市民には何の関係もない」と云われていた。しかし一旦、法律ができるのと次々に改正され、共産黨員、共産党シンパ、外郭団体、労働組合など捜査対象が広がっていった。石川県でも川柳作家の鶴彬が治安維持法違反で逮捕されている。このような法律は運用があいまいであり、現代社会ではライン・電話・室内盗聴などの傍受が横行する恐れがある。東京五輪と共謀罪は本来、何の関係もないが、「治安」

を口実に何も文句を云わない社会づくりが共謀罪の一番のねらいである。

戦前の三悪法は軍機保護法、国防保安法、治安維持法。現代の三悪法は特定秘密保護法、安保法制、共謀罪である。これが揃えば「戦争する国づくり」が一気に進む。この法案は絶対に阻止しなければならない。

【報告3】

「共謀罪」の危険性

～近代刑法の原則、

犯罪捜査の観点から～

金沢合同法律事務所弁護士

宮西 香



宮西 香さん

最初に近代刑法の原則を理解していただいたうえで、「共謀罪」の問題点についてお話しする。

犯罪とは、①構成要件に該当する②違法かつ③有責な行為であり、法益

（法律によって保護される利益）を侵害し、または危険に陥れる行為である。構成要件とは、刑罰法規に規定された個別的な犯罪の類型。犯罪が成立するためには、まず行為がこの構成要件に該当することが必要である。例えば刑法第二三五条（窃盗罪）では「他人の財物を窃盗したものは一〇年以下の懲役又は五〇万円の罰金に処する」と定められている。このように現行刑法は、行為のうち、法益侵害又はその危険性のあるものを個別・具体的に抽出し、処罰の対象となる行為とそうでない行為を明確に区分している。

また現行刑法では、①既遂処罰の原則…一般に刑罰の対象を「既遂」に限定し、一部の犯罪を例外的に「未遂」で処罰し、さらに一部の重大犯罪のみを「予備」で処罰するという体系をとっており、②行為処罰の原則（思想不処罰の原則）…人の思想や内心を処罰の対象にしていない。

今回の共謀罪＝組織的犯罪処罰法改正案（六条二項）では、「組織的犯罪集団により行われる重大な犯罪実行を二人以上で計画した者は、その計画をした者のいずれかにより準備行為が行われたとき」処罰の対象になる。この「組織的犯罪集団」の定義があいまいで、権力の恣意的判断で一般市民

も対象になる恐れがある。「計画」は外部からうかがいしれない。「準備行為」を限定することも困難である。「その計画をした者のいずれかにより」では準備行為をしないものも罰せられてしまう。しかも対象となる罪が二七もある。既遂処罰が原則の現行刑法の体系を根底から変容させる重大な問題がある。

共謀罪の捜査はどのように行われるのか。「計画」（合意）に関する捜査手法は、会話、電話、メール等の人の意思を表明する手段及び人の位置情報等を収集することになる。つまり内心の自由を侵害する。

「計画」にもとづき「準備行為」がなされれば処罰の対象になる。これまでは犯罪の結果があつて容疑者の捜査が開始されているが、共謀罪では「計画」の段階から捜査が行われる。犯罪の予防と犯罪の捜査の境目があいまいであり、警察は目を付けた団体を日常的に監視することになる。気が付いたときに手遅れにならないように、一人ひとりが工夫して発信している。

（文責 非核・いしかわ編集部）



ドキュメンタリー映画
「ザ・思いやり」上映会
 ～参加者の感想より～



石川民医連内の平和委員会会員で組織する「れんこんの会」で三月一日、石川勤医協会館にて「ザ・思いやり」上映会を開催しました。二年前の平和大会に参加した際に一部を見て、みんなに見てほしいと思っていました。その感想を紹介します。

(れんこんの会 村中香子)

●「武力では平和にならない。日本人はネバーギブアップ。思いやり予算はやめて日本人のために使いたい。自分たちの税金がこんなに勝手に使われているのに、それを知らない日本人は情けない。本当のことを知る必要がある。ナンバー2も絶対見ます！」

●「紛争や戦争の連鎖を断ち切るためにも世界中の人が平和や人の命について真剣に考えなくてはならないと思いました。また映画の内容はあまり公表されてこないことなので多くの人に映画を見てもらいたい。」

●「私たちの血税で訓練をする米軍が他国で人名を奪う姿を見ると何の為に??と怒りがこみ上げてくる。」

●「北朝鮮が何をやるか分からないが、米軍がいるとお金がかかって必要ないところに使えないし、犯罪も起きているのでいけないほうがいいと思う。人の国にまで凶々しいと思った。」

●「日本国内では子どもの貧困問題など多くの支援を求めている人が大勢いるので税金の使い道を考慮してほしいと願う」

●「今まで自分の税金がどのように使われているか興味ありませんでしたが、知るということがまず大切だと分かりました。」

●「米軍基地で使われている日本国家予算は思っていたより多かった。ゴルフ場など娯楽施設も多く、予算はどのように米軍の人に捉えられ利用されているのかなと思った。」

●「思いやり予算が約九四億円だそうだが、そもそもなぜ日本に基地があるのか、がよく分からないまま日本国民

は高い税金を払っており、しかもその現実を知らない自分を知った。」

**金沢市はもっと積極的に
平和施策の推進を**

金沢市議会平成二八年九月定例会における平和施策に関する質疑を紹介しします。(金沢市議会会議録HPより抜粋)

◎山本由紀子議員 七尾市では、毎月全戸配布される七尾市の広報紙の中で、武元文平前市長は「八月・戦争のことを語ろう」というタイトルなどで、折に触れて平和の大切さについて発信されていきました。さらに、七尾市は、二〇一一年、平和首長会議に加盟し、この年から毎年、総務課と教育委員会が合同で平和写真パネル展を開催しています。その内容は、広島原爆写真パネル展、特別イベント「戦争を語りつづつどい」、小中学校から寄せられた平和に関する作品、市民から提供された戦争資料、DVD「第二能登丸」上映などで、毎年、内容の充実とともに、参加者層の拡大にも努力されています。

◎山野之義市長 本市では、平成七年に平和都市宣言一〇周年を記念し、姉妹都市公園内に平和都市宣言碑を設

置いたしました。平成二二年には平和首長会議に加盟するなど、取り組みを進めてきました。また、平成一三年からは毎年、市内図書館で、「原爆と人間展」を継続して開催しているところでもあります。他都市の例なども参考にしながら取り組んでまいりたいと思っております。ただ、平和都市宣言をすることも、平和首長会議に入ることも大切なことではありませんけれども、行動で示すことということも大切なことであるというふうに思っています。

◎山本由紀子議員 平和都市宣言の一〇年ごとの節目の記念事業では物足りないと感じる。市長として平和意識の醸成ということを市民、それから市内外に積極的に発信されること、特に市民への発信を、市長としてもっとされるとよろしいのではないかと。

◎山野之義市長 御提案、真摯に受けとめて取り組んでまいります。

【編集部より】
 平和都市宣言に基づき、平和意識を醸成することが自治体における平和施策の推進です。市長として市民への情報発信、平和首長会議行動計画(二〇一二年〜二〇一七年)の具体化など文字通り「行動で示す」ことを求めていきたい。

非核石川の会リレーエッセー 世界と響きあう変化

安倍政権を内外から追い詰める 劇的時代

尾西洋子

三月二五日から五日間、ニューヨークで開催された核兵器禁止条約の国連会議の最終記者会見でホワイト議長は、一一五カ国以上の参加者が条約と述べ、六月からの第二期会議で合意可能であり、七月七日の最終日に条約を採決する決意を表明しました。

仮に核保有国の参加が得られなくとも人類史上、初めて核兵器を違法化し、悪の烙印を押すことができます。禁止条約と運動の力で核兵器廃絶への道が開かれることになりました。

今回、核保有国が初めて守勢にまわつての妨害、唯一の戦争被爆国日本政府の不参加に強い批判と失望が寄せられました。日本政府の不在席に「あなた方が、ここにいてくれたなら」と書かれた大きな折り鶴が置かれた映像がNHKでも放映されました。

そうした中で、被爆者の声が世界を動かし、被爆国日本国民の声を一七二万人の「ヒバクシャ国際署名」とともに届けた市民団体や原水協など草の根の運動が参加者を励ました。

今回はじめて国連会議で演説し、核軍縮・不拡散議員連盟の一員として正式に参加した日本共産党代表団の活躍は注目を受け歓迎され、その代表団報告を聞いて、百を超える国々が主催者となった二一世紀の構造的変化が

世界の変化を生んでいます。感動です。

今大切なのは国の大小でも経済力の大小でも、軍事力の大小でもない。

世界の道理に叶った主張をしている国が、世界から尊敬され大きな力を発揮します。

他国の言いなりになっているような国は相手にされません。国連会議での日本政府の惨めな姿が示しました。

世界のすべての国が対等、平等に世界政治の主人公になる新しい時代が始まっています。その力は、国連会議で核兵器のない世界をめざす画期的な流れとなっています。私たちの長い、草の根の運動が世界と響きあうことに確信を深めました。

日本の政府は「北朝鮮の核問題があるから禁止条約には参加できない」と言うが、逆です。解決するためにも核兵器の違法化が重要でありませんか。

六月の第二期会議の成功に向けて世論と運動をもっと大きく広げ、核兵器依存の安倍政治を変え、『非核の政府』の出番にしましょう。

詩人会議かなざわ「独標」より

足おと

石川あい

この駐屯地に移って六〇年

日頃お世話になっている

地域住民の方に

こんな元気に訓練していると

お披露目のパレードをするという

国から頂いた大切な物品

発砲はしません

身に着けるのは当然ですと

小銃を下げ

軍靴を揃え

周囲を通行止めにして

行進するという

抗議のプラカードに

色を塗っている私

若者を戦場へ送るな

安倍政治を許さない

ラジオから

南スーダンへの

派遣部隊の報道が

聞こえてくる

《編集室より》

◎今号で国連本部の核兵器禁止条約交渉のことが、池田治夫さんと尾西洋子さんから寄せられている。どちらの意見も『国際法上違法化』される見通しと、核保有国と依存国が追い詰められている姿を具体的に記述されている。加えて戦争被爆国の日本政府は卑屈な態度を世界にさらした。非核の政府を求める会の掲げる『非核五項目』を会報「非核・いしかわ」の題字の横に毎号掲載しているが、今が出番と光り輝いている。条約が発効すると『非核神戸方式』を求める運動が世界的に大きく広まるだろう。(平)

◎今年で六回目となる「非核・平和行政に関するアンケート」を実施します。アンケート調査を始めた二〇一二年四月の県内の平和首長会議加盟は五市町だけでしたが、この五年間の「非核・平和の自治体づくり」の取り組みにより昨年七月に一九市町すべての加盟が実現しました。今年のアンケート調査依頼書は今月号と一緒に郵送し、五月一日を目途に集約します。平和首長会議一〇〇%加盟を契機として各市町における主体的・自主的な平和行政の展開を期待しています。

(か)



見ごろを迎えた桜＝金沢市・卯辰山 400年の森

街中が満開の桜であふれ、色とりどりの花が目を楽しませる季節になりました。桜がこれだけ至る所にあるというのは、紅葉と同じく日本独特の風景とのこと。

四月に入って学業や仕事の環境が変わって慌ただしく、忙しい方も多いかと思います。でもせつかく身の回りが色鮮やかな季節に入ってきたので、たまには立ち止まって自然に親しみたいですね。

シリーズ 石川の地域点描 ⑨

フォトグラファー 中西 優



金沢医療生協絵手紙班 家 正子

絵手紙コーナー



十二が滝と桜＝小松市布橋町

《非核平和・掲示版》

月	日	曜	時	内容	場所	
4	22	土	13:30	いのちとくらしを守る市民集会 1部 講演 西郷南海子さん「だれの子どももころさせない」 2部 西郷さんとトーク「子どもたちにどんな未来を手渡すのか」	金沢市青草町・近江町交流プラザ4階	
	26	水	12:50	立憲主義と民主主義を取り戻そう！昼デモ	金沢市・いしかわ四高記念公園／教育会館前口	
	28	金	18:30	沖縄に連帯！講演会・オール沖縄衆議院議員 仲里利信さん	金沢市武蔵町・ITビジネスプラザ武蔵6階	
5	3	水・休日	14:00	平和憲法施行70年記念県民集会「改憲の危険性と9条の生かし方 進む軍拡の既成事実はどう対処するか」 山田朗さん	金沢市石引4丁目・本多の森ホール	
	5	金・休日	11:00	山菜づくし・3団体交流会（救援会・国賠同盟・日朝協会）	白山市吉野・吉野オートキャンプ場	
	9	火	12:30	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町・Mza前	
	13	土	10:00	非核の政府を求める石川の会総会 来賓ご挨拶 粟貴章 野々市市長	野々市市役所併設・カメラア2階ホール椿1	
	14	日	10:00	はだしのゲンをひろめる会総会	金沢市青草町・近江町交流プラザ4階	
	19	金	13:00	女性のレッド行動いしかわ	金沢市香林坊・アトリオ前	
	19	金	18:30	戦争をさせない石川の会講演会「北東アジアの平和を考えるー北朝鮮脅威論を見抜くために」金乗権さん	金沢市青草町・近江町交流プラザ4階	
	20	土	13:30	石川県平和委員会総会	金沢市近江町・市民交流プラザ4階	
	21	日	12:00	核戦争を防止する石川医師の会総会	金沢市尾張町2丁目・保険医協会事務所	
27	土	10:30	「北東アジアの中国を知る」 田中義敬日中友好協会理事長	金沢市昭和町・平和と労働会館		
6	9	金	12:30	核兵器廃絶署名6・9行動	金沢市武蔵町・Mza前	
	10	土	13:30	戦争をさせない石川の会「共謀罪を考える七尾市講演会」 （お話 金澤敏子さん、DVD「一枚の写真が・・・」上映）	七尾市小島町・本延寺	
	11	日	10:30	石川県母親大会	金沢市三社・石川県女性センター	
	11日(日)～16日(金)				原水爆禁止国民平和行進・能登コース	輪島市～内灘町
	15日(木)～7月7日				国連・核兵器禁止条約締結交渉会議	ニューヨーク市・国連本部
	17日(土)～24日(土)				原水爆禁止国民平和行進・富山～広島コース	津幡町～加賀市
	17日(土)～23日(金)				映画「標的の島 風かたか」	金沢市香林坊・シネモンド

* 祝日は休日とします * 毎週金曜日18:30どいね原発アピール行動 金沢駅兼六園口 * 毎月15日石川県沖縄連帯デー